

平成 24 年 1 月 4 日

各 位

会 社 名 株式会社山口フィナンシャルグループ
代表者名 取締役社長 福田 浩一
(コード番号 8418 東証第一部)
問合せ先 I T 企画部長 北川 信之
(T E L 083-223-4974)

もみじ銀行における『地銀共同化システム』の稼働について

株式会社山口フィナンシャルグループ（社長 福田 浩一）は、グループ経営基盤強化の一環として、効率的なシステム共同運営体制の構築をすすめて参りましたが、傘下の株式会社山口銀行（頭取 福田 浩一）および株式会社北九州銀行（頭取 加藤 敏雄）の『地銀共同化システム』稼働開始に続き、このたび株式会社もみじ銀行（頭取 野坂 文雄）が『地銀共同化システム』の稼働を開始しましたのでお知らせいたします。

1. 稼働に至るまでの経緯

山口フィナンシャルグループでは、「I T 戦略基盤の高度化」「グループ内経営資源の効率的活用」「グループの内部統制機能の強化」を目的として、平成 19 年に『地銀共同化システム』への参加を決定しました。山口銀行が先行して稼働し、その後同一システムに北九州銀行およびもみじ銀行も移行する計画の下、地方銀行 4 行、株式会社三菱東京 UFJ 銀行（頭取 永易 克典）および日本アイ・ビー・エム株式会社（社長 橋本 孝之、以下「日本 IBM」）とともに、預金・融資・外為など主要な勘定系と情報系システムを共同化する作業を進めてまいりました。

2. 質の高い総合金融サービスのご提供

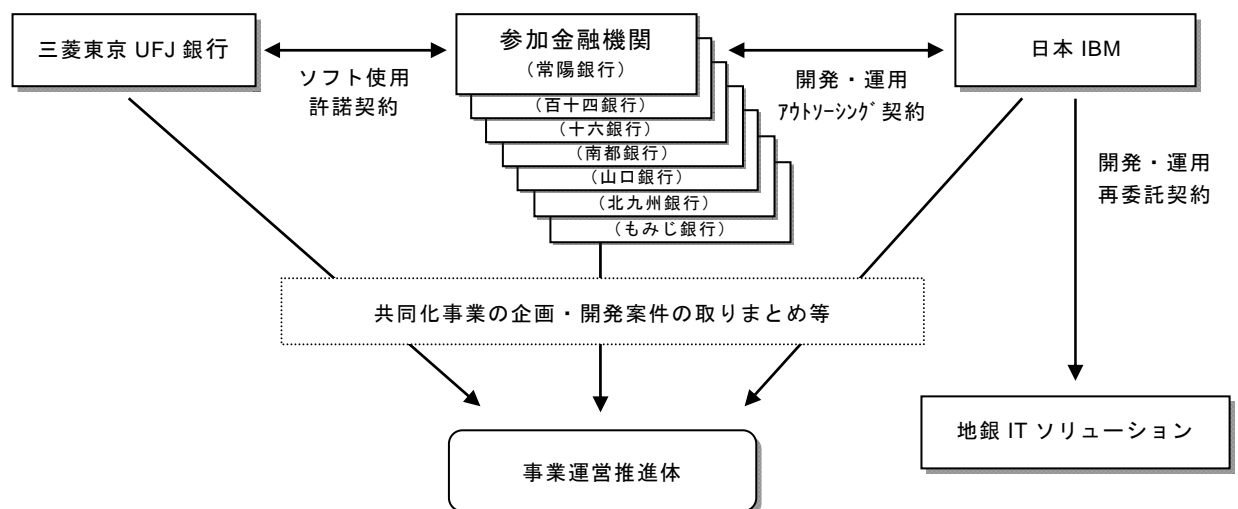
もみじ銀行は、『地銀共同化システム』の稼働により、新業務、新制度、新技術への対応力が強化されることになり、今後はこれまで以上にお客様のニーズに合った質の高い総合金融サービスの提供が可能となります。

3. 『地銀共同化システム』のスキーム概要

- (1) 『地銀共同化システム』は、三菱東京 UFJ 銀行の現行システムを基に、参加金融機関の共通ニーズと個別ニーズを反映させて構築したものです。メガバンクのシステムを基とした地方銀行のシステム共同化形態は国内唯一であり、参加金融機関は、三菱東京 UFJ 銀行が開発した先進的な業務ソフトウェアの継続的提供などにより、業務・制度・技術面での将来の IT 対応力を確保してまいります。

- (2) 参加金融機関は、日本 IBM に開発・保守・運用を委託し、コンピュータを同社のセンターに集約すること、開発・運用要員を同社の子会社として設立した株式会社地銀 IT ソリューションに集約することなどにより、システム経費の削減を図ってまいります。
- (3) 共同化する業務は、預金・融資・外為などの勘定系に加え、ダイレクトチャネル系や情報系なども含めた範囲を対象とし、参加金融機関、三菱東京 UFJ 銀行および日本 IBM から構成される事業運営推進体を主体に、今後、さらなる共同化範囲の拡大を検討してまいります。

【地銀共同化システムの運営スキーム】



以上